

仕入価格等高止まりにより生産、消費ともに縮小傾向

人材確保難深刻化も、時間外労働時間規制強いられるなど問題山積

～景況 DI 値は、前年同月比 7.9 ポイント上昇のマイナス 26.3～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 6月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比 31.6 ポイント上昇のプラス 5.3、前年同月比 5.3 ポイント上昇のマイナス 26.3。非製造業では、前月比 47.4 ポイント低下のマイナス 31.6、前年同月比 26.3 ポイント低下のマイナス 31.5。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比 5.2 ポイント上昇のプラスマイナス 0、前年同月比同水準のマイナス 5.3。非製造業では、DI 値前月比 5.3 ポイント低下のプラス 15.8、前年同月比 15.8 ポイント低下のプラス 31.6。

収益状況 製造業では、DI 値前月比 31.6 ポイント上昇のプラスマイナス 0、前年同月比 21.1 ポイント上昇のマイナス 21.0。非製造業では、前月比 15.7 ポイント低下のマイナス 21.0、前年同月比 10.6 ポイント上昇のマイナス 21.0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比 15.7 ポイント上昇のプラス 5.2、前年同月比 10.5 ポイント上昇のマイナス 10.5。非製造業では、前月比 15.8 ポイント低下のマイナス 15.8、前年同月比 10.4 ポイント上昇のマイナス 21.1。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比 10.5 ポイント上昇のプラス 5.3、前年同月比 10.5 ポイント低下のマイナス 26.3。非製造業では、前月比 21.0 ポイント低下のマイナス 10.5、前年同月比 21.0 ポイント低下のマイナス 15.8。

景況 製造業では、DI 値前月比 15.7 ポイント上昇のマイナス 15.8、前年同月比 10.5 ポイント上昇のマイナス 21.1。非製造業では、前月比 26.2 ポイント低下のマイナス 31.5、前年同月比 5.2 ポイント上昇のマイナス 31.6。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比 5.2 ポイント低下のマイナス 23.6、前年同月比 7.9 ポイント上昇のマイナス 26.3 となった。製造業では、依然として多くの業種で原材料等の高騰による収益の悪化が続いているうえ、受注量及び販売数量の減少につながるため価格転嫁が困難な状況が続いており業況は厳しい。非製造業では、大型連休の反動による人流の減少が見受けられたほか、旅行支援策の終了により観光関連を中心に前年同月比の売上高は大きく減少した。県内景況は、全業種で原材料及び仕入価格等諸経費の高止まりが継続しており、生産、消費ともに縮小傾向にあり厳しい状況が続いている。また、人材確保難が深刻化するなか、時間外労働時間の規制による業務見直しを強いられるなど問題が山積しており、先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

6月の全国倒産は、件数807件で、（前年同月782件、3.2%増）と、26カ月連続で前年同月を上回った。6月としてはコロナ禍初期に倒産件数が急増した2020年の806件を上回り、過去10年で最多となった。負債総額は1079億1800万円（前年同月1232億800万円、12.4%減）と、4カ月連続で前年同月を下回った。

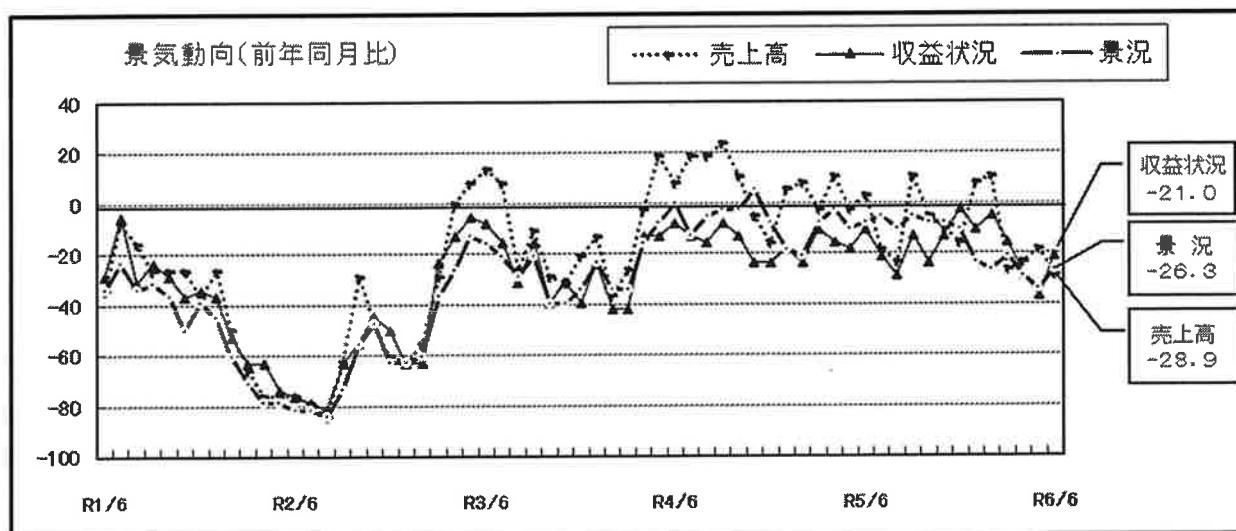
一方、6月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数4件（前月3件）、負債総額は5億300万円（前月5700万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報5月分」）

鳥取県の5月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.28倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.24倍）で、前月より0.02ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.04倍、米子所1.34倍、倉吉所1.15倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.30倍（季節調整値）で、前月より0.03ポイント上回った。

新規求人数は、前年同月比2.6%減少し、有効求人数も9.0%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他（42.1%）、宿泊業・飲食サービス（36.3%）、建設業（15.8%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.4%減少、有効求職者数は前年同月比2.8%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.02倍で、前年同月比で0.17ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ9.7%増加した。



6月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	26.3%	5.3 31.6	15.8%	47.4%	-31.6 -47.4	23.7%	36.8%	-13.1 -7.8
(2) 在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 -15.7	0.0%	8.3%	-8.3 -16.6	3.2%	9.7%	-6.5 -16.2
(3) 販売価格	10.5%	10.5%	0.0 5.2	21.1%	5.3%	15.8 -5.3	15.8%	7.9%	7.9 0.0
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	0.0%	5.3%	-5.3 5.2
(5) 収益状況	21.1%	21.1%	0.0 31.6	5.3%	26.3%	-21.0 -15.7	13.2%	23.7%	-10.5 7.9
(6) 資金繰り	10.5%	5.3%	5.2 15.7	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8	5.3%	10.5%	-5.2 0.1
(7) 設備操業度	21.1%	15.8%	5.3 15.9						
(8) 雇用人員	15.8%	10.5%	5.3 10.5	0.0%	10.5%	-10.5 -21.0	7.9%	10.5%	-2.6 -5.2
(9) 景 況	5.3%	21.1%	-15.8 15.7	5.3%	36.8%	-31.5 -26.2	5.3%	28.9%	-23.6 -5.2

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	47.4%	-26.3 5.3	21.1%	52.6%	-31.5 -26.3	21.1%	50.0%	-28.9 -10.5
(2) 在庫数量	5.3%	5.3%	0.0 5.2	8.3%	16.7%	-8.4 -16.7	6.5%	9.7%	-3.2 -3.2
(3) 販売価格	15.8%	21.1%	-5.3 0.0	42.1%	10.5%	31.6 -15.8	28.9%	15.8%	13.1 -8.0
(4) 取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	5.3%	5.3%	0.0 5.3	5.3%	10.5%	-5.2 5.4
(5) 収益状況	15.8%	36.8%	-21.0 21.1	15.8%	36.8%	-21.0 10.6	15.8%	36.8%	-21.0 15.9
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 10.5	0.0%	21.1%	-21.1 10.4	2.6%	18.4%	-15.8 10.5
(7) 設備操業度	15.8%	21.1%	-5.3 21.0						
(8) 雇用人員	5.3%	31.6%	-26.3 -10.5	5.3%	21.1%	-15.8 -21.0	5.3%	26.3%	-21.0 -15.7
(9) 景 況	10.5%	31.6%	-21.1 10.5	10.5%	42.1%	-31.6 5.2	10.5%	36.8%	-26.3 7.9

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料やエネルギー価格の高騰に加え、人件費の上昇も負担となり収益は悪化傾向にある。

醤油⇒ 味噌・醤油業界全体としては受注量の減少を価格転嫁による小売価格の上昇分でカバーしている。貿易は欧州、アメリカが伸長している。県下で一番の生産規模であった事業者が自主廃業となり、業界全体への影響が出てきている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 前月に引き続き供給過多の状況が続いており、値崩れを起こすことが懸念される。秋ごろまでこの状況が続くことが予想される。

ニット製品⇒ 円安の状況が安値安定で推移、さらなる円安へと向かい、衣料品輸入関連企業は収益悪化が顕著となっている。国内メーカーは依然として国内生産見直しの動きも見受けられず操業度維持に苦労している。

【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。売上高は前月比で同水準、前年同月比は減少で推移、収益状況は前月比で同水準、前年同月比は悪化となった。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で増加、前年同月比で減少となった。製材品および合板の生産量は前月比で微減、前年同月比は同水準で推移した。製材品には反映していないものの、素材の入荷量が増加、製材業者の業況も今後上向く見通しはあるものの、ウッドショック以降の物価上昇による住宅不況が続いており根本的な回復には至っていない。プレカット加工の稼働率は、前月比25%増加、前年同月比は15%増加で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに悪化となり、引き続き業況は厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、デジタル化の進展と市場ニーズの多様化に対応するため、新技術の導入と効率化が進んでいるものの、原材料高の高騰などコスト上昇が継続しており、中でもデジタルトランジションにおける初期投資が財務に大きな影響を与えている。印刷業界は新たなビジネスモデルと収益源を模索しており、教育機関や地方自治体との連携強化に努めている。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 6月の生コン出荷量は、前月比で約6%増加、前年同月比で同水準となった。

東部地区では昨年夏の豪雨被害への災害復旧工事案件が増えつつあるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合っていない。中部地区では北条 JCT 関連の残り工事と砂防、海岸関係、西部地区では官公需は海岸関係の工事が中心であり、民需と官公需がほぼ同程度であったが、若干低下で推移している。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、6月は受注量の増加により売上高は前月比、前年同月比で増加した。県内物件は中西部では受注を確保できている会社があるものの、東部は少なくなっている。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。機械加工は、自動車関連に受注の動きが見られたものの、短納期対応はひと段落となった。工作機械関連は引き続き厳しい状況。

鉄骨加工⇒ 物件の量が少なく安値での受注となり、結果として加工業者側が負担するなど、利益圧縮となり厳しい状況。また、人件費、運送、溶接材料、ガスなどの価格が軒並み上昇しているものの、価格転嫁には至っていない。

金属熱処理⇒ 受注量は前月比、前年同月比ともに減少した。全国的に金属製造業の中小企業は自動車生産の低迷を反映して低調となっている。他地域の同業者も低迷しており、景気回復の見通しは立っていない状況にある。

【電気機械器具】

⇒ 材料の供給は安定しているものの、増産の傾向は見受けられず、依然として先行きは不透明なままである。現時点で人員不足は解消されているが、増産傾向になれば不足することが懸念される。原材料等高騰による経費負担の増加により利益見込みは依然厳しい。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、取扱数量は前月比、前年同月比とも増加となった。売上高は単価の低下により前月比で減少となったが、前年同月比では増加した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比、前年同月比ともに大幅に減少している。売上高は単価上昇があったものの前月比、前年同月比ともに減少となった。取扱数量も減少が続いており、水産業は厳しい状況となっている。資材等の高騰により月を追うごとに値上げが続いている。業績は好調であっても人材不足に苦慮している。

中部地区⇒ 様々な補助金制度の創出により、前月に引き続き業種を問わず効率化、省力化を図るための ICT 商材の検討が増えつつある。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見され、影響の増大が懸念される。

水産物⇒ 6月の巻き網は缶詰、輸出用のサバ、ウルメの混獲漁が続き、昨年を上回る水揚げとなったが、本来この時期に獲れるアジ、ブリ類が少量であり若干物

足りない月となった。例年より早く始まった本マグロ漁も順調に漁獲され、塩釜等他地域のものに比べ脂乗りも良く、焼け身も少なく高評価を得て全国へ流通した。近海物は底引き漁が休漁期となり、イカ類の水揚げも振るわず夏枯れ状態に突入した模様。漁期の最終月を迎えた紅ズワイガニは終了時の思惑買いもあり浜値が乱高下する月となった。

リサイクル原料⇒ 同業他社に業態変化があり、今後の動向に関心が高まっている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少し、収益状況は依然として厳しい。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、6月はパレットとっとり内にある市民交流ホールにて、民間利用の展示会・販売会等が複数件開催され、夕方以降の飲食店の利用客も増加傾向にあり、来街者数は増加している。個店の状況としては、仕入れ価格の高騰が止まらず、売上は昨年に対し増加している店舗もあるものの収益状況は苦しい状況が続いている。宿泊はインバウンドもあり好調を維持している。総じて物価高騰等経済的不安要素は改善しておらず、消費マインドは下がったままで引き続き厳しい状況。電気代等物価高騰の影響により商品、サービスの価格も上昇しており、客離れを起し売上の低迷につながっている。また、人材不足をはじめ、事業承継が進まず厳しい状況が続いている。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、少しずつ人流が戻りつつあるものの、売上高を含めコロナ禍以前の状況まで回復に至っていない。商店街全体として各個店の売上増加につなげるべく打開策を模索している。7月には土曜夜市を計画している。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、元町パティオ広場は工事によりイベントの開催ができていないが、韓国便の就航により商店街にはインバウンドによる来街者が増加傾向となっている。

境港市の水産物小売では、6月は境港で「まぐろ感謝祭」を開催し賑わいを見せたものの、その他にイベントや連休もなく来場者は若干低下した。コロナ禍から回復を見せた前年同月と比較すると消費者の購買意欲は低下傾向にあり、伸び悩んでいる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、例年より気温が高く観光客の入込数は減少傾向で推移した。下旬以降も悪天候で観光客の入込数は大幅に落ち込んだ。結果的に売上高は前月比、前年同月比ともに減少で推移し、収益状況は悪化した。

米子市のホテル・旅館では、6月の予約は低調で推移し、宿泊者数は前年を下回り、売上高は前月比、前年同月比ともに減少した。原材料費、燃料費等、高騰しているものの、価格への転嫁ができていない。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、大型連休後から動きが鈍く、旅行支援のあった昨年と比較すると売上高は減少、収益状況は悪化した。「ホテル祭り」を開催したことで来訪者に動きはあったものの、宿泊者数の増加にはつながらなかった。

羽合温泉では、6月の宿泊は前月比で2割程度減少、前年同月比では3割強

の減少となった。前年は旅行支援の追い込みの影響もあり宿泊の後押しがあったが、今年は支援策等がなかったうえ、東郷温泉の2施設が休館したため宿泊が伸び悩んだ。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて2,023台で前月比は普通車約24%、軽自動車約18%の増加、前年同月比は普通車約12%、軽自動車約9%の減少で、中古車は普通車・軽自動車を合わせて688台で前月比約5%増加、前年同月比約6%の減少となった。継続検査（軽自動車を含む）は14,530台で前月比約4%、前年同月比約11%の減少となった。

【建設業】

⇒ 5月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額64億円（前年同月比40.7%増）、件数122件（同27.1%増）となった。年度累計（令和6年4月～令和6年5月）は、請負金額203億円（前年同月比29.1%増）、件数344件（同29.3%増）となった。公共投資は2か月連続の前年同月比プラスとなった。設備投資は単月で前年同月比プラス、3か月平均はマイナスとなった。住宅投資は貸家系でプラスとなるも、持ち家系を中心になお弱い動き。資材価格が高止まりする中、住宅関係を中心に民間工事の不振が継続し、公共工事が下支えしている状況。時間外労働の上限規制により工事の受注に影響が出ており、収益状況は悪化傾向が継続している。

5月の鳥取県新設住宅着工戸数は185戸（持家116戸、貸家69戸）で、前月比24%減少、前年同月比28%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 6月の物流は、売上高は前月比、前年同月比ともに減少しており非常に厳しい状況が続いている。国内消費が伸び悩んだことに加え、高騰する原材料価格等の転嫁が十分に進んでいないことがマイナス要因となり荷動きが低調となっている。また、長引く燃料価格の高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしている。2024年問題への対応に伴う業務見直しや運行形態の変更の影響による車両不足が懸念されており、今後も厳しい状況が続くことが予想される。

西部地区⇒ 6月の燃料価格については、1Lあたり0.9円～1.1円上昇した。配車事業、燃料事業、高速事業について売上高は前年同月比横ばいで推移した。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・超安値衣料品販売サイトを不当競争防止法等で規制してほしい。【繊維工業】
- ・大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・景気回復に寄与する政策を打ち出してもらいたい。【商店街】
- ・県立美術館とのコラボ企画プロジェクトへの参画を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売 上 高	製 造 業	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	5.3
	非製造業	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	-15.8
	全 業 種	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	-5.2
在庫数量	製 造 業	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	-15.7
	非製造業	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	-8.3
	全 業 種	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	-12.9
販売価格	製 造 業	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.3
	非製造業	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	10.5
	全 業 種	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	7.9
取引条件	製 造 業	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3
	非製造業	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	-5.3
	全 業 種	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	-5.3
収益状況	製 造 業	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	31.5
	非製造業	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	-5.2
	全 業 種	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	13.2
資金繰り	製 造 業	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	21.0
	非製造業	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0
	全 業 種	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	10.6
設備操業度	製 造 業	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	15.8
雇用人員	製 造 業	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	5.3
	非製造業	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0
	全 業 種	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	2.7
景 況	製 造 業	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	21.0
	非製造業	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	-42.1
	全 業 種	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-10.4

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売上高	製造業	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	10.5
	非製造業	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	-73.6
	全業種	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-31.5
在庫数量	製造業	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	10.5
	非製造業	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-16.8
	全業種	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0
販売価格	製造業	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	-15.8
	非製造業	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	-15.7
	全業種	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	-15.8
取引条件	製造業	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	10.5
	非製造業	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	21.1
	全業種	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	15.9
収益状況	製造業	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	26.3
	非製造業	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-47.3
	全業種	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-10.5
資金繰り	製造業	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	21.1
	非製造業	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-21.1
	全業種	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	0.0
設備操業度	製造業	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	26.3
雇用人員	製造業	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-15.8
	非製造業	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	-5.3
	全業種	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-10.5
景況	製造業	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	21.0
	非製造業	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-57.9
	全業種	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-18.5

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	悪化	不変	悪化	好転	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	悪化			
製造業	食料品	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	0	2	0	
	繊維工業	1	2	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	3	0	
	木材・木製品	2	1	1	0	4	0	0	4	0	0	1	2	1	0	3	1	2	2	0	1	3	0	1	3	0	2	2	
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	
	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	
	鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	
	一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
輸送用機器																													
その他																													
非製造業	卸売業	19	6	8	5	1	16	2	2	15	2	0	18	1	4	11	4	2	16	1	4	12	3	3	14	2	1	14	4
	小売業	100%	31.6%	42.1%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	21.1%	57.9%	21.1%	10.5%	84.2%	5.3%	21.1%	63.2%	15.8%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	73.7%	21.1%
	商店街	1	4	1	0	6	0	1	4	1	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	0	0	0	6	0	1	5	0	
	サービス業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
	建設業	1	3	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	3	1	
	運輸業	1	0	4				2	3	0	0	4	1	0	2	3	0	3	0	2	3	2	0	3	2	0	1	4	
	その他	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	建設業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	
	運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	2	
	その他																												
製造業	19	3	7	9	0	10	1	4	14	1	0	18	1	1	13	5	0	16	3				0	17	2	1	11	7	
	100%	15.8%	36.8%	47.4%	0.0%	83.3%	8.3%	21.1%	73.7%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	84.2%	15.8%				0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	
	38	9	15	14	1	26	3	6	29	3	0	36	2	5	24	9	2	32	4	4	12	3	3	31	4	2	25	11	
非製造業	100%	23.7%	39.5%	36.8%	3.2%	83.9%	9.7%	15.8%	76.3%	7.9%	0.0%	94.7%	5.3%	13.2%	63.2%	23.7%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	63.2%	15.8%	7.9%	81.6%	10.5%	5.3%	65.6%	28.9%	

情報連絡員報告総括表（令和6年6月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0
繊維工業	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	1	2	1	1	1	1	1	2	0	0	1	2
木材・木製品	1	1	2	0	4	0	0	3	1	0	3	1	1	1	2	0	2	2	1	3	0	0	3	1	0	2	2
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	1	1	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1
一般機器	0	1	2	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	4	6	9	1	17	1	3	12	4	1	15	3	3	9	7	1	15	3	3	12	4	1	12	6	2	11	6
100%	21.1%	31.6%	47.4%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	47.4%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	63.2%	31.6%	10.5%	57.9%	31.6%
卸売業	2	2	2	1	4	1	2	2	2	0	6	0	1	4	1	0	6	0				0	5	1	1	5	0
小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	0	1	0	1	0
商店街	1	2	1	0	3	1	2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	4	0				0	4	0	1	2	1
サービス業	0	0	5				3	2	0	0	4	1	0	2	3	0	3	2				1	2	2	0	1	4
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	0	2
その他																											
19	4	5	10	1	8	2	8	9	2	1	17	1	3	9	7	0	15	4				1	14	4	2	9	8
100%	21.1%	26.3%	52.6%	8.3%	66.7%	16.7%	42.1%	47.4%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	47.4%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%				5.3%	73.7%	21.1%	10.5%	47.4%	42.1%
38	8	11	19	2	25	3	11	21	6	2	32	4	6	18	14	1	30	7	3	12	4	2	26	10	4	20	14
100%	21.1%	28.9%	50.0%	6.5%	80.6%	9.7%	28.9%	55.3%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	47.4%	36.8%	2.6%	78.9%	18.4%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	68.4%	26.3%	10.5%	52.6%	36.8%